

協議会へのご支援のクラウドファンド終了のご報告

本年6月4日 開始

『東京大学先端科学技術研究センター×村上財団×PWJ』が新型コロナ抗体大量測定で安心できるくらしを実現するために、Yahoo!募金で支援募集を開始

8月31日 終了

【寄付が2倍】新型コロナ抗体大量測定で安心な社会を (ピースウィンズ・ジャパン)

寄付受付開始日：2020/06/02

医療・福祉 教育・研究

緊急事態宣言解除。
新型コロナウイルス対策は
新たなステージへ。

“私たち”の力で、怯えのない暮らしを実現したい

村上財団 東京大学 先端科学技術研究センター
Research Center for Advanced Science and Technology
The University of Tokyo peace winds JAPAN

¥ 寄付総額 17,745,012円
■ 目標金額 60,000,000円
達成率29%
👤 寄付人数 5,051人

👛 寄付する (受付終了)

*寄付をするには Yahoo! JAPAN IDの取得 (無料) が必要です。

ピースウィンズ
YAHOO募金
17745012円

+

村上財団
17745012円

協議会参加施設での15772件の精密測定

(2020.8.28 幹事会暫定報告)

※・現時点での集計できた分を記載。実際はこれより多い

・同じ患者の発症から退院後までの時間を追っての測定もあるため、測定人数はこれより少ない

	患者	健常者	抗体検査研究	教職員健診 関連	残余検体	抗原・ Igクラス 別	合計
東大先端研						>76	4068
東大病院	522			1749		398	2669
慶應病院			117	2,000		29	2,146
阪大病院	51	78		537			666
京都府立大	21			202			223
都医学総合研					6,000		6,000
						計	15772

IgG, IgMの測定だけで定価ベースで約1億円の試薬を購入。YHLO, MBLの協力により抗原別・抗体のクラス別検査薬も提供してもらい、試薬の価格も現在はディスカウントしてもらってここまでの測定ができた。

これまでの成果と今回のご報告

第一回記者会見 5月31日

日本人にはコロナウィルスに対する交差免疫と思われる反応がある人が多く重症化しにくい。

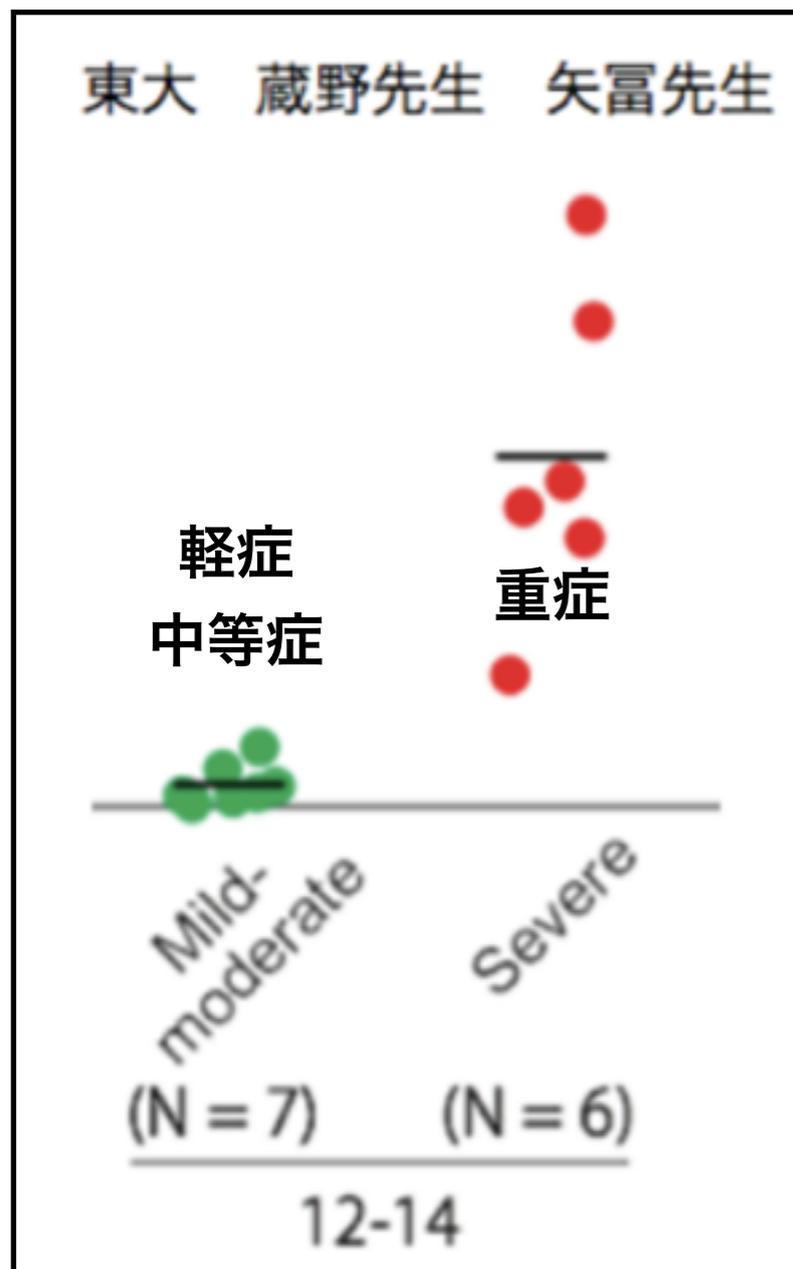
第二回記者会見 7月7日

PCR検査で陽性で、無症状または軽症のかたのなかに、抗体試験（IgG、IgMいずれも）判定基準未満の方がいる。

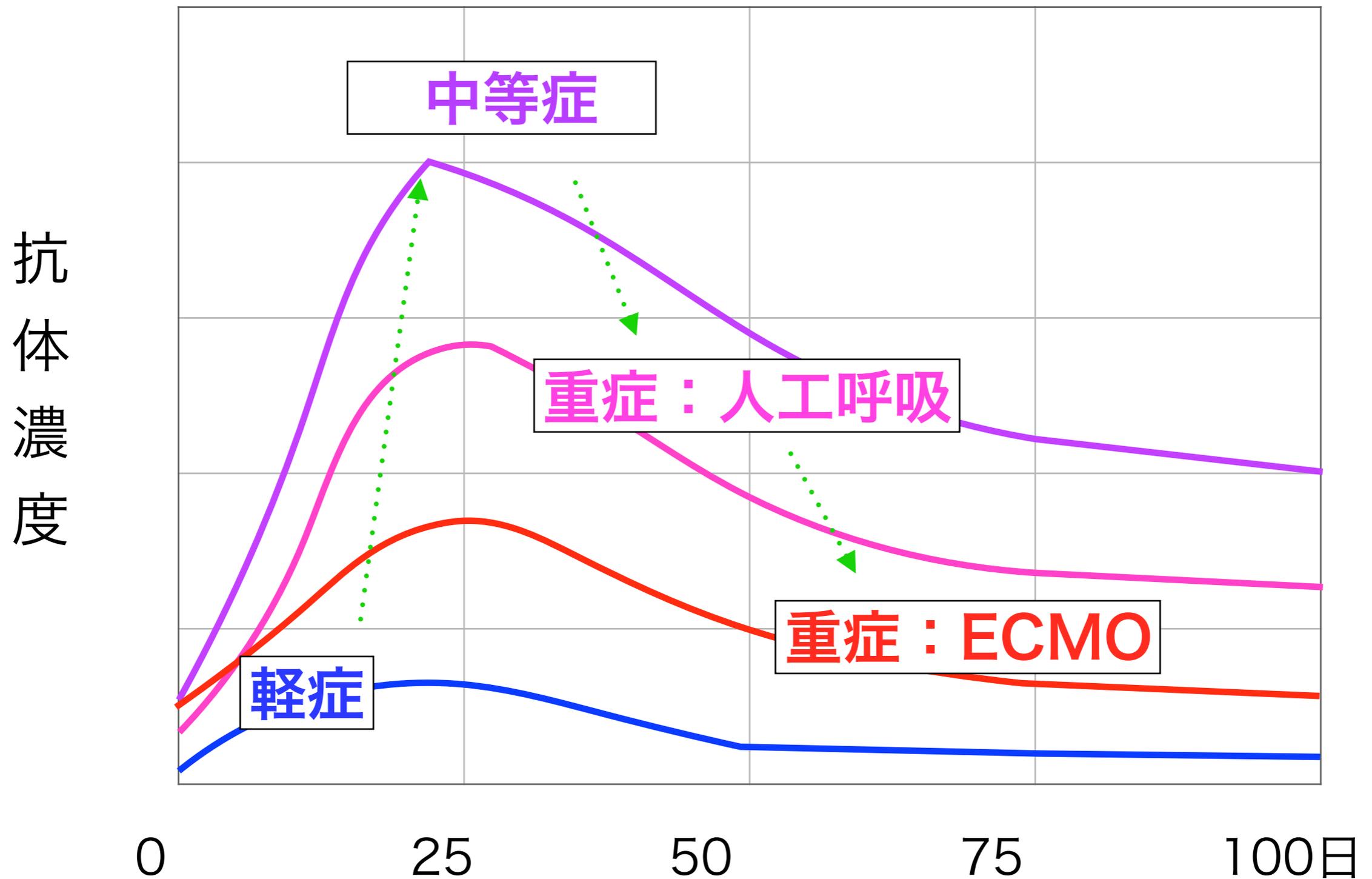
診断基準を改定
新型コロナウイルスへのIgG抗体の判定基準（AIU）

5未満	陰性
5以上10未満	要経過観察
10以上	陽性

血液中のIgMの値

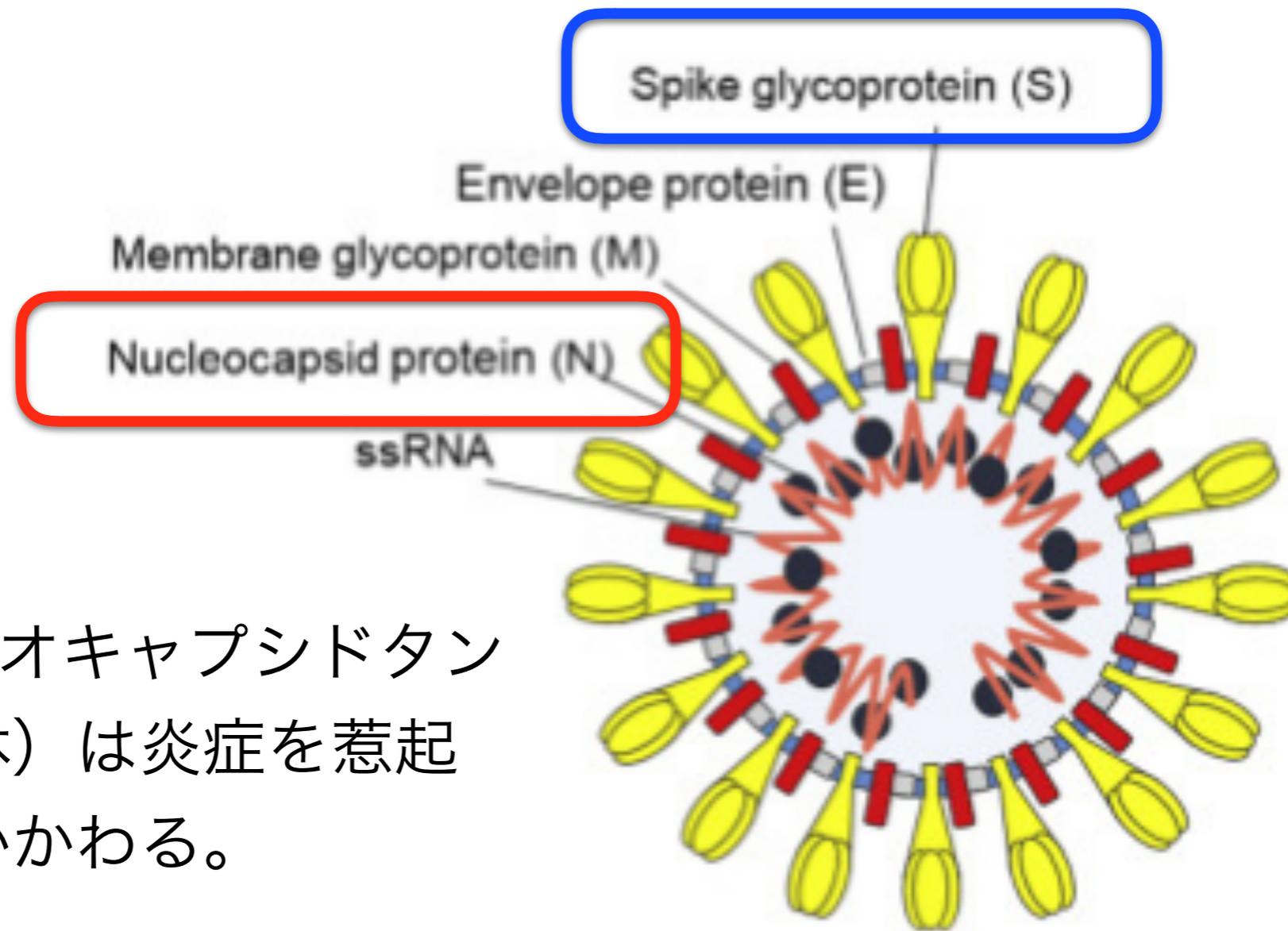


(概念図1) 抗体の反応は、軽症から中等症で増加するが、重症になると減弱することがわかった。



(概念図2) S抗体はN抗体より長い寿命をもつ

S抗体（スパイクタンパク質への抗体）はウィルスの増殖を抑制する中和抗体であり、ワクチンの標的である。



N抗体（ヌクレオキャプシドタンパク質への抗体）は炎症を惹起し病変悪化にかかわる。

ワクチン開発に希望を持たせる結果である

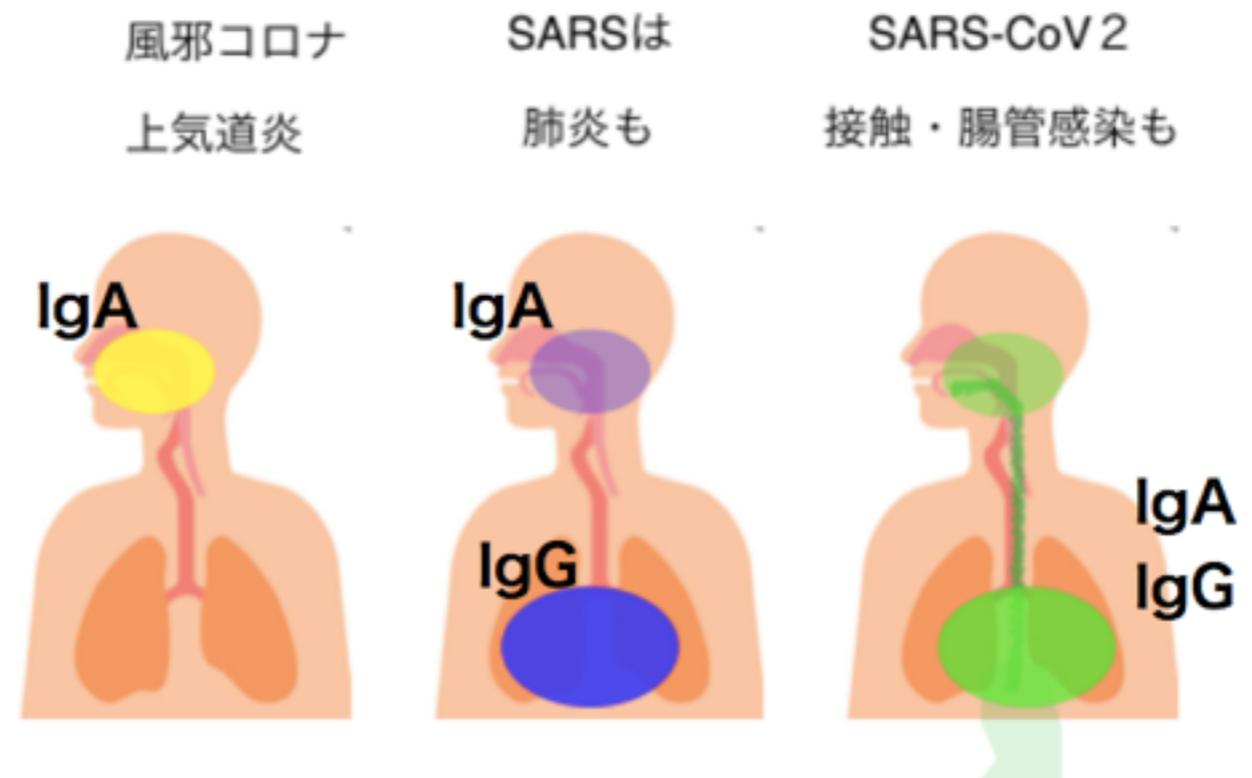
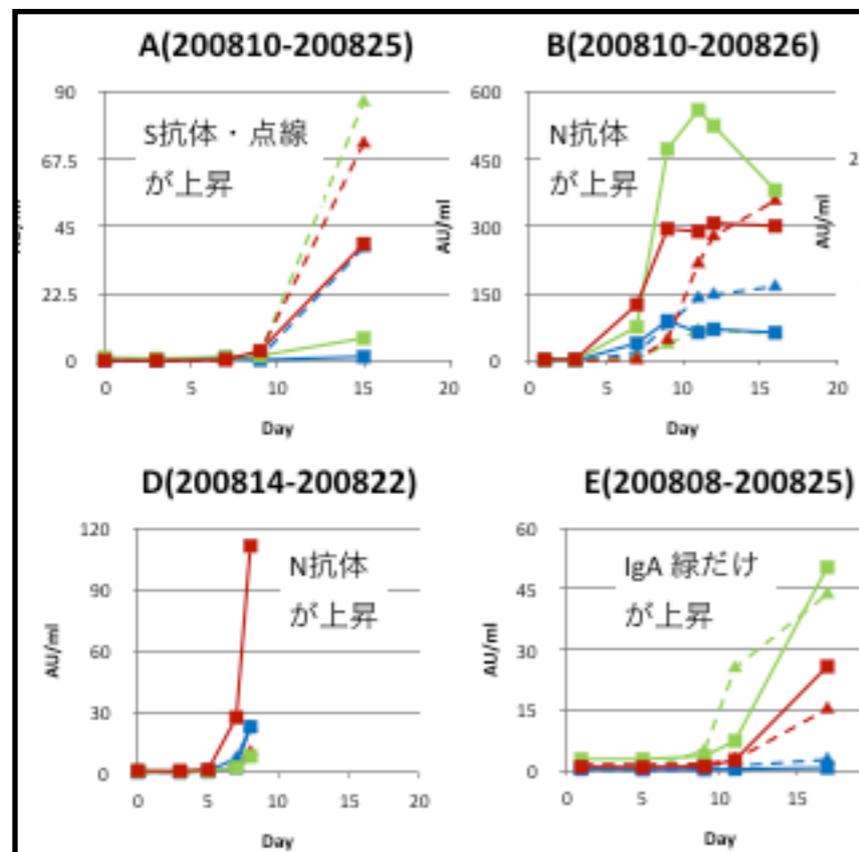
(概念図3) IgAだけ上昇する人、IgGだけ上昇する人 IgAとIgGの両方、上昇する人がいる。

IgAは、口腔、鼻腔、上気道の粘膜で分泌される。

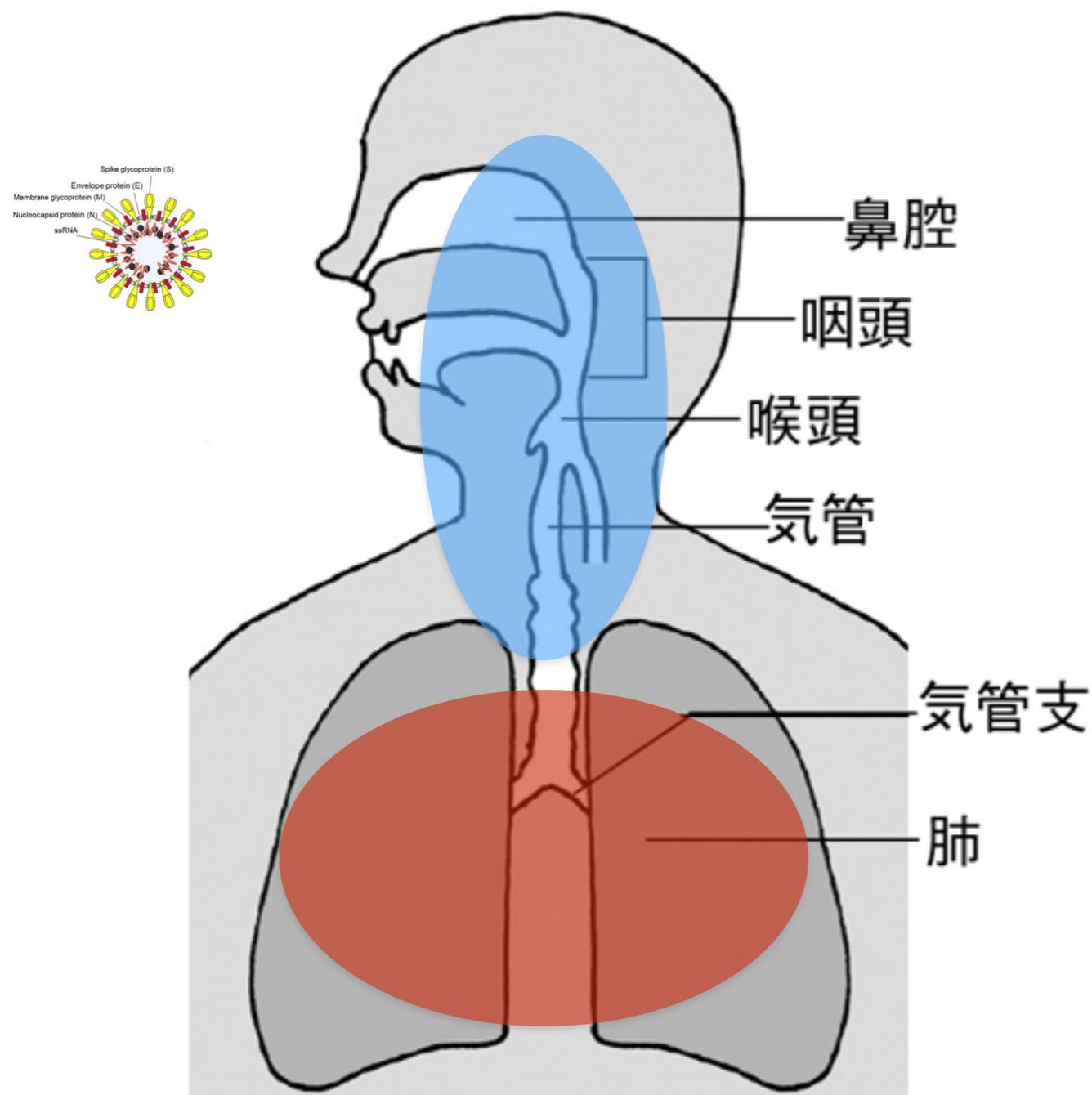
体内の臓器では、IgGが免疫反応をになう。

日本人の新型コロナウイルス反応は、非常に多様とわかった。

今後、ワクチン開発について投与方法も考える必要がある。



最初の反応で IgMの上昇する例が免疫の暴走で重症化する
交差免疫を持つ方が軽症であればワクチンの有効の可能性



上気道の粘膜免疫

IgA

経鼻ワクチンの可能性

組織の免疫反応

IgG

S抗原ワクチンの寿命が
長く期待される